

- 問1 明治維新から近代国家の体制が整うまでの政治的推移について、出来事が古い順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 民撰議院設立建白書の提出 → 版籍奉還の実施 → 五箇条の御誓文の公布 → 内閣制度の創設 | 2. 版籍奉還の実施 → 五箇条の御誓文の公布 → 内閣制度の創設 → 民撰議院設立建白書の提出 | 3. 五箇条の御誓文の公布 → 版籍奉還の実施 → 民撰議院設立建白書の提出 → 内閣制度の創設 | 4. 五箇条の御誓文の公布 → 民撰議院設立建白書の提出 → 版籍奉還の実施 → 大日本帝国憲法の発布 |
|--|--|--|---|
-
- 問2 明治政府が地租改正を行い、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 農村における貧富の差をなくし、すべての農民が平等に土地を所有できるようにするため。 | 2. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を失って都市へ流入するのを防ぐため。 | 3. 海外から安い米を輸入しやすくすることで、都市部の物価を安定させるため。 | 4. 天候による豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が安定した歳入を確保できるようにするため。 |
|--|--|--|---|
-
- 問3 明治政府が実施した地租改正の目的について、江戸時代の年貢制度と比較した説明として最も適切なものを選択してください。なお、江戸時代の年貢収入は豊凶により激しく変動していましたが、明治政府の地租収入は一定の額で安定する仕組みとなっていました。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 農民の負担を減らすため、毎年収穫量の増減に合わせて税率を柔軟に変更し、不満を抑えること。 | 2. 収穫量に応じた米による納入から、地価を基準とした金納へと改めることで、政府収入を安定させること。 | 3. 地主から土地を取り上げ、実際に耕作している小作人に地券を配布することで、農村の貧困を解決すること。 | 4. 土地の所有をすべて国有とし、政府が直接耕作を指示することで、農業生産力を高めて財政を安定させること。 |
|---|---|--|---|
-
- 問4 明治政府は、欧米の新しい技術を導入し日本の産業を育成するために「殖産興業」という政策を推進しました。この政策の一環として、西洋の機械や技術を導入し、民間に広める手本とするために全国各地に設立された政府直営の工場を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|---------|-----------|---------|
| 1. 座 | 2. 国立銀行 | 3. 官営模範工場 | 4. 株式会社 |
|------|---------|-----------|---------|
-
- 問5 明治政府が1872年に群馬県へ富岡製糸場を建設した際、欧米の知識や技術を導入することで近代的な産業を育てようとした一連の政策を何といいますか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 富国強兵 | 2. 文明開化 | 3. 版籍奉還 | 4. 殖産興業 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問6 1872年に出された教育に関する布告の序文において、「必ず村に学校へ通わせない家がなく、家に学校へ通わない人がいないようにしなければならぬ」という理念が掲げられた目的として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 欧米諸国に並ぶ国力を養うため、国民の知識を高めて有為な人材を育成すること | 2. 特定の宗教教育を全国の子供に徹底させ、国民の精神的な統一を図ること | 3. 江戸時代までの身分制度を維持し、武士の子供だけに高度な専門教育を施すこと | 4. 急速に進行する少子化への対策として、将来の労働力を早期に確保すること |
|---|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
-
- 問7 明治政府が1872年に群馬県に開設した、輸出用の高品質な生糸を生産するための官営模範工場の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1. 足尾銅山 | 2. 長崎造船所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 八幡製鉄所 |
|---------|----------|----------|----------|
-
- 問8 明治政府が1872年に群馬県に設立した、生糸の輸出拡大と生産技術の向上を目的とした官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1. 足尾銅山 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 長崎造船所 |
|---------|----------|----------|----------|
-
- 問9 日本の近代国家形成の過程において、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文の経歴や役割を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 天草や神戸など各地の開港を主張し、慶應義塾を創設して『学問のすめ』を著した。 | 2. 土佐藩出身の政治家として、民撰議院設立の建白書を提出し、自由民権運動を組織した。 | 3. 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。 | 4. 明治政府の初代内務卿として権力を握り、学制や徴兵令、地租改正を主導して富国強兵を進めた。 |
|---|---|--|---|
-
- 問10 明治政府が1872年に新橋・横浜間で鉄道をいち早く開通させた、当時の社会的な背景や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 鎖国体制を維持するために、外国人の移動を特定の区間のみに制限するため | 2. 全国の街道にある宿場町を保護し、馬車による輸送を補完するため | 3. 物資や兵員の迅速な輸送を可能にし、産業の発展と国力の強化をはかるため | 4. 江戸時代の参勤交代の制度を維持し、諸大名の移動を容易にするため |
|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
-
- 問11 明治政府は、西洋の進んだ技術を取り入れて国力を高める「殖産興業」の政策を推進しました。その象徴的な出来事として、1872年に日本で最初の鉄道が東京の新橋との間で開通した都市はどこですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 長崎 | 2. 新潟 | 3. 神戸 | 4. 横浜 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問12 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 日本橋と浦賀の間 | 2. 京都と神戸の間 | 3. 新橋と横浜の間 | 4. 上野と熊谷の間 |
|-------------|------------|------------|------------|
-
- 問13 明治政府が、地方を治めていた藩を廃止して県を置き、各県に中央政府から官吏を派遣して直接支配を行うことで、日本を一つの政治体制にまとめようとした改革を何といいますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 廃藩置県 | 3. 地租改正 | 4. 徴兵令 |
|---------|---------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 五箇条の御誓文の公布 → 版籍奉還の実施 → 民撰議院設立建白書の提出 → 内閣制度の創設	明治政府は1868年に「五箇条の御誓文」で新しい政治の基本方針を示しました。翌1869年には、旧藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させる「版籍奉還」を行い、中央集権化への第一歩を踏み出します。1874年には、板垣退助らによって国会の開設を求める「民撰議院設立建白書」が提出され、自由民権運動のきっかけとなりました。その後、憲法の制定に先立ち、1885年に近代的な行政組織として「内閣制度」が創設されました。
問2	答え 4 天候による豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が安定した歳入を確保できるようにするため。	江戸時代までの年貢は、天候不順による不作や、市場での米の価格変動によって、政府（幕府や藩）が得られる収入が大きく変動するという欠点がありました。近代国家として予算を立てて運営していく必要があった明治政府は、土地の値段を基準に現金で納税させることで、毎年一定の税收を確実に見込める仕組みを作りました。これにより、政府の財政基盤が確立されました。
問3	答え 2 収穫量に応じた米による納入から、地価を基準とした金納へと改めることで、政府収入を安定させること。	明治政府は近代国家の基盤をつくるため、予測可能な安定した財政収入を必要としていた。江戸時代までの年貢は、その年の収穫量によって収入が左右される不安定なもの（物納）であったが、地租改正では土地の価格である「地価」を基準に、一定の税率を現金で納めさせる（金納）仕組みとした。これにより、天候や作柄に影響されない「財政の安定」が実現した。
問4	答え 3 官営模範工場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力を作るため、近代産業を育成する「殖産興業」の政策を掲げました。その具体的な施策として、フランスなどの最新技術を取り入れた官営模範工場を建設し、そこでの技術を民間へ普及させることで日本の工業化を主導しました。群馬県の富岡製糸場はその代表例です。
問5	答え 4 殖産興業	明治政府は、欧米列強に対抗できる国力を養うため、国内の産業を近代化させる必要がありました。そのために政府が主導して新しい技術や機械を導入し、産業の発展を図った政策が殖産興業です。富岡製糸場はその象徴的な施設として知られています。
問6	答え 1 欧米諸国に並ぶ国力を養うため、国民の知識を高めて有為な人材を育成すること	明治政府は、軍事力の強化や産業の発達（富国強兵）を実現するには、西洋の科学技術や知識を理解できる国民を増やす必要があると判断しました。この序文には、特定の階層だけでなく全国民の知的水準を底上げし、国家の近代化を支える人材を育てようとする強い意志が反映されています。
問7	答え 3 富岡製糸場	明治政府は、当時の主要な輸出品であった生糸の品質向上と増産を目指し、フランスの技術を導入して群馬県に官営模範工場を設立しました。これが富岡製糸場であり、日本の近代化における殖産興業政策の象徴的な施設です。
問8	答え 3 富岡製糸場	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」の政策を進める中で、当時最大の輸出品であった生糸の品質向上と増産を図りました。そのためにフランスの技術を導入して設立されたのがこの工場です。現在はその歴史的価値が認められ、世界文化遺産に登録されています。
問9	答え 3 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。	明治初期の地方官としてのキャリアにおいて、兵庫県知事や兵庫運上所の長官を務め、海外との貿易や外交の実務に深く関わりました。この経験が後の条約改正交渉や、近代的な政治制度の構築に活かされています。他の選択肢にある大久保利通（内務卿）や福沢諭吉（慶應義塾創設）、板垣退助（自由民権運動）といった同時代の重要人物と、その具体的な功績や出身を区別して理解することが重要です。
問10	答え 3 物資や兵員の迅速な輸送を可能にし、産業の発展と国力の強化をはかるため	明治政府は「富国強兵」をスローガンに掲げ、欧米列強に対抗できる近代国家を目指しました。鉄道の建設は、それまでの徒歩や馬による輸送に比べ、大量の物資や人員を高速で運ぶことを可能にするインフラ整備の要でした。これは国内の流通を活性化させて産業を育てるだけでなく、国家としての統治能力や防衛力を高めるという重要な目的がありました。
問11	答え 4 横浜	明治政府は近代化を急ぐため、イギリスの技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年（明治5年）に新橋・横浜間で日本初の鉄道が営業を開始したことは、人々の生活や意識が西洋風に変化する「文明開化」を象徴する出来事となりました。横浜は当時、海外への玄関口となる開港場として重要な役割を担っていました。
問12	答え 3 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県の横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問13	答え 2 廃藩置県	明治政府が欧米の列強に対抗するため、強力な中央集権国家を確立することを目指して1871年に断行した改革です。これ以前の版籍奉還では、旧藩主が「知藩事」として引き続き各地を治めていたため政府の命令が行き届きにくい状態でしたが、この改革によって各地に中央政府から県令（知事）が派遣されるようになり、全国の直接支配が可能となりました。